

いとう

衆議院議員

のぶ ひさ
信久

泉州の医療改革

日本維新の会

本号では、いとう信久さんの
目指す政策などをお伝えします。

衆議院議員
プロフィール

いとう信久



1964 年生まれ。
神戸大学医学部医学科卒業、大阪市立大学大学院医学研究科修了、ウイルス学医学博士。
伊東くりにつくみどり診療所（泉州）院長 / メゾン・デ・サントネール泉佐野・阪南 顧問医師 / 貝塚ライオンズクラブ会員 / 泉佐野商工会議所会員 / 岬ラグビースポーツ少年団コーチ
衆議院議員（現在 3 期目）。科学技術・イノベーション推進特別委員会理事・総務委員会・決算行政監視委員会。

臨時国会開催！

臨時国会が10月3日より始まりました。今国会では、新たな感染症危機に備えるための感染症法改正案や衆院小選挙区定数「10増10減」を反映した公選法改正案、また物価の高騰などを受け、新たな総合経済対策を反映した2022年度第2次補正予算案など、国民生活に直結した制度や対策等、早急に審議を進めなければならない案件が山積しています。

いとう信久は総務委員会・決算行政監視委員会そして科学技術・イノベーション推進特別委員会の理事として、これらの諸課題に対し、政府の対応について積極的に問い質してまいります。



いとう通信 第15号

お問合せ・お申込みは、こちらでもお気軽に！

発行元 **いとう信久事務所**

〒598-0055 大阪府泉佐野市若宮町 7-13 田端ビル 4F
TEL : 072-463-8777 FAX : 072-463-8776



www.n-ito.jp



facebook.com/nobuhisai



@nobuhisaito1



nobuhisaito

いとう信久の 国会での活動実績

この国の継続的な発展を願い、いとう信久はこれまで3期約5年10ヶ月の間、衆議院議員として国会で様々な活動を行ってきました。日本維新の会国会議員団の中においては、副幹事長や国会対策委員会副委員長として党の舵取りに尽力し、また憲法PT事務局長として時代の変化に対応出来る憲法の形を提唱してまいりました。

今、国難とも言えるコロナ禍に直面し衆議院議員として、そして現役の医師として医療の現場からの改革を唱え、安心安全な国づくりを目指しています。



○委員会等における質問回数(日数) R4.10.29現在

委員会名	質疑	答弁	討論等
内閣委員会	2	0	0
総務委員会	1	0	0
外務委員会	1	0	0
財務金融委員会	9	0	1
文部科学委員会	22	※2	0
厚生労働委員会	13	0	0
経済産業委員会	15	0	0
国土交通委員会	2	0	0
環境委員会	1	0	0
予算委員会	14	0	1
決算行政監視委員会	1	0	0
災害対策特別委員会	1	0	0
消費者問題に関する特別委員会	1	0	0
科学技術・イノベーション推進特別委員会	9	0	0
原子力問題調査特別委員会	3	0	0
地方創生に関する特別委員会	1	0	0
内閣委員会総務委員会財務金融委員会 厚生労働委員会連合審査会	1	0	0
憲法審査会	1	0	自由 討議等 5
本会議	2	0	2
〔旧委員会〕我が国及び国際社会の 平和安全法制に関する特別委員会	1	0	0
(参議院) 文教科学委員会	0	1	0
計	101	3	9

注)※2の答弁のうち、1回は質疑回数(日数)に含まれる。

いとう信久の 目指すもの

1. 新型コロナ被害支援

- 消費税を5%に一時的に引き下げ
- ウィズコロナを見据えた経済との両立

2. 泉州・大阪の医療改革

- 医療人材育成拠点整備
- 医薬品開発などの環境を整備

3. 大阪万博を見据えた成長戦略

- 関西国際空港に大阪万博サテライト会場誘致
- 関空施設充実と活力を泉州発展へ繋ぐ仕組み

4. 教育への投資を

- 高等教育まで無償化
- 給付型奨学金の充実で学生の経済負担を軽減
- 習い事助成クーポン制度の導入促進

5. 自然災害への備え強化

- 地震による倒壊危険インフラの早急な改修
- 激甚災害指定の要件の見直し
- 各自治体への津波避難路整備支援
- 津波や土砂など危険区域の世帯に個別受信機配布の義務付けを推進

6. 泉州のインフラ整備

- 阪神高速湾岸線延伸+紀淡海峡大橋
- 京奈和関空道整備
- 関空南ルート整備

